事例No.	2207
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	佐賀県唐津市

事例区分	公会計

タグ	・公共施設活用 ・セグメント分析 ・EBPM

事例種類	施設別セグメント分析

事例内容・タイトル

セグメント分析取組事例④

出典

地方公会計に関する取組事例集

セグメント分析取組事例④（佐賀県唐津市）

分析の目的

○将来の公共施設等の更新・維持管理費用を削減するため、施設別財務書類を作成し、各施設のコストの見える化を図るとともに、同種施設とのコスト比較等を行うことを目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

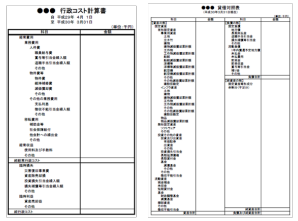
事例概要

○まず、モデルケースとして、現在更新を検討している施設等について、分析を実施。
○既に作成している「唐津市公共施設白書」のデータを活用し、掲載されていない情報については、適宜情報を追加して施設別財務書類を作成（従事職員数や利用者数などの「非財務情報」の更新を行い、データ収集を実施）。
○ 財務会計システムの執行データは、予算事業ごとにコストを計上しているが、1つの事業に複数の施設コストが含まれている場合は、必要に応じ施設所管課に確認。
○指定管理者制度を導入している施設については、指定管理者の決算書からコストを計上している。

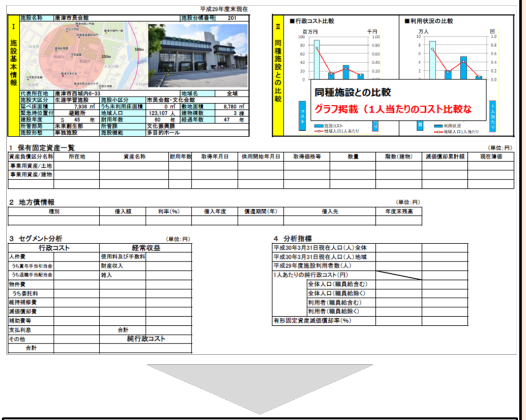
〈 唐津市公共施設白書 〉



〈 施設別財務書類 〉



〈 公開用資料（案） 〉



予算編成、行政評価、主要施策成果説明書等の基礎資料として活用

セグメント分析結果

○人件費など施設のフルコストをはじめ、人口及び利用者1人あたりの純行政コストの見える化が可能となった。過年度の情報や他市の同種の施設の情報があればさらなる分析が可能と思われる。

今後の課題・展望等

○令和2年度からの本格的な実施に向けて、今後、横断的な体制づくりや公表用資料の検討、予算科目の検討等を行うこととしている。
○全庁的な取組体制の整備、固定資産台帳の精度、財務書類の早期作成など、引き続き課題解決への取組みを推進する。